

Q 1. あなたが勤務している学校は次のどちらですか？

項目	実数	構成比(%)
小学校	262	83.7
中学校	51	16.3
調査数	313	100.0

Q 2. 武蔵野市の学校に勤務した年数（通算）はどの区分に当てはまりますか？

項目	実数	構成比(%)
1年未満	51	16.3
1年以上5年未満	128	40.9
5年以上10年未満	78	24.9
10年以上	56	17.9
調査数	313	100.0

Q 3. あなたの職名は次のうちどれですか？

項目	実数	構成比(%)
校長	14	4.5
副校長	13	4.1
主幹教諭・指導教諭	29	9.3
主任教諭・主任養護教諭	136	43.4
教諭・養護教諭	121	38.7
調査数	313	100

Q 4. 今の仕事にやりがいや充実感を感じていますか？

項目	小学校		中学校	
	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)
よく感じている	108	41.2	21	41.2
感じるときもある	134	51.1	27	52.9
感じるときは少ない	17	6.5	3	5.9
まったく感じない	2	0.8	-	-
分からない	-	-	-	-
無回答	1	0.4	-	-
調査数	262	100.0	51	100.0

Q 5. どんなときに仕事のやりがいや充実感を感じますか？あてはまるものをすべて選択してください。

項目	小学校		中学校	
	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)
受け持っている子どもの成長を感じたとき	230	87.8	42	82.4
子どもや保護者からの感謝の言葉を述べられたとき	199	76.0	38	74.5
同僚や管理職から自分の仕事が認められたとき	162	61.8	24	47.1
学校行事や大きな取り組みがうまくいったとき	155	59.2	28	54.9
授業準備や教材研究をしているとき	102	38.9	23	45.1
同僚から授業などの相談を受けているとき	58	22.1	17	33.3
子どもからの相談を受けているとき	56	21.4	24	47.1
保護者の悩みなどの相談を受けているとき	41	15.6	17	33.3
その他	9	3.4	-	-
無回答	1	0.4	-	-
調査数	262	100.0	51	100.0

Q 6. セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、子どもたちのアイデアや考えを聞いていますか？

項目	小学校		中学校	
	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)
よく聞いている	132	50.4	22	43.1
少しは聞いている	112	42.7	24	47.1
あまり聞いていない	14	5.3	5	9.8
聞いていない	1	0.4	-	-
無回答	3	1.1	-	-
調査数	262	100.0	51	100.0

Q 7. セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、子どもたちに「何のために行うのか」という目的やことを「どういったがんばるか」という目標を考えさせていますか？

項目	小学校		中学校	
	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)
よく考えさせている	199	76.0	40	78.4
たまに考えさせている	52	19.8	10	19.6
あまり考えさせていない	8	3.1	1	2.0
考えさせていない	1	0.4	-	-
無回答	2	0.8	-	-
調査数	262	100.0	51	100.0

Q 8. 今いる学校のきまりやルールの中で「これはおかしい」と思ったり、「変えた方がよい」と思ったりするものはありますか？

項目	小学校		中学校	
	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)
ある	106	40.5	24	47.1
ない	154	58.8	26	51.0
無回答	2	0.8	1	2.0
調査数	262	100.0	51	100.0

Q 9. 今後、学校教育で「もっとやっているとよい」と思うのはどれですか？あてはまるものをすべて選んでください。

項目	小学校		中学校	
	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)
働き方改革の推進（教員を支える人員体制の確保や業務改善、部活動のあり方の検討など）	214	81.7	44	86.3
特別支援教育の推進（ユニバーサルデザインにもとづく学習指導、特別支援教室の充実など）	177	67.6	24	47.1
多様性を生かした学び（学級活動や児童会・生徒会における話し合いを通じた合意形成など）	174	66.4	29	56.9
学習の基盤となる資質・能力の育成（言語能力や情報活用能力の育成など）	157	59.9	33	64.7
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実（指導の個別化、学習の個性化、学びの自己調整、クラスメイトに限らず異学年や地域の人々との協力など）	156	59.5	21	41.2
生徒指導の充実（子どもが主体的に考え、行動する力の育成、いじめの未然防止・早期発見や対応、自己肯定感の向上など）	156	59.5	33	64.7
地域や関係機関と連携した教育の推進（地域の人材や環境を活用した教育の充実など）	145	55.3	21	41.2
不登校児童生徒への支援（子どもの居場所づくり、S C や S S W など関係機関、N P O との連携など）	144	55.0	35	68.6
教員の専門性の向上（研究会等への参加費補助、管理職との対話によるキャリアデザインづくりなど）	132	50.4	25	49.0
デジタル・シティズンシップ教育の推進（生成 A I（C h a t G P T 等）の利用も見据えた創造的な学習者用コンピュータの活用、S N S でのコミュニケーションのあり方など）	126	48.1	27	52.9
切れ目のない相談支援（教育相談の充実、帰国外国人教育相談、幼保小の連携、小中の連携など）	123	46.9	24	47.1
体験活動の充実（長期宿泊体験活動、文化芸術体験、オーケストラや美術館鑑賞の推進など）	122	46.6	17	33.3
子どもの参加や意見表明（校則の見直し、学校行事への子どもの参画など）	117	44.7	16	31.4
特別支援学級の取組の充実（交流共同学習推進、I C T の活用、指導の専門性の向上など）	117	44.7	23	45.1
健康教育・体力向上の取組充実（日常的な運動習慣づくり、食育、生活習慣の改善など）	109	41.6	16	31.4
人権教育の推進（子どもの権利や人権課題に関する理解の促進など）	102	38.9	12	23.5
次代の教育を担う人材の確保（ティーチングアシスタントをはじめとした大学との連携など）	102	38.9	27	52.9
開かれた学校づくり協議会の機能強化（学校・家庭・地域が目標を共有し、互いの強みを生かして協力していくことなど）	91	34.7	14	27.5
読書活動の推進（中央図書館との連携、子どものアイデアによる学校図書館活性化など）	79	30.2	13	25.5
市民性の育成（武蔵野市民科の推進、キャリア教育、専門家や他地域との交流など）	73	27.9	14	27.5
理数教育の推進（大学・企業・科学館との連携、S T E A M 教育など）	72	27.5	11	21.6
外国語教育の充実（留学生との交流などのコミュニケーションの場づくり、教員の英語指導力の向上など）	67	25.6	16	31.4
無回答	3	1.1	2	3.9
調査数	262	100.0	51	100.0

Q10は記述式回答

Q11. Q9で掲げた取り組みのうち、子どもたちにとってよりよい教育活動を推進するため、保護者、地域、専門家の協力を得たい取り組みはどれですか？あてはまるものをすべて選んでください。

項目	小学校		中学校	
	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)
働き方改革の推進（教員を支える人員体制の確保や業務改善、部活動のあり方の検討など）	160	61.1	34	66.7
地域や関係機関と連携した教育の推進（地域の人材や環境を活用した教育の充実など）	145	55.3	24	47.1
不登校児童生徒への支援（子どもの居場所づくり、S CやS S Wなど関係機関、N P Oとの連携など）	144	55.0	32	62.7
体験活動の充実（長期宿泊体験活動、文化芸術体験、オーケストラや美術館鑑賞の推進など）	132	50.4	17	33.3
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実（指導の個別化、学習の個性化、学びの自己調整、クラスメイトに限らず異学年や地域の人々との協力など）	122	46.6	16	31.4
特別支援教育の推進（ユニバーサルデザインにもとづく学習指導、特別支援教室の充実など）	118	45.0	16	31.4
切れ目のない相談支援（教育相談の充実、帰国外国人教育相談、幼保小の連携、小中の連携など）	118	45.0	22	43.1
市民性の育成（武蔵野市民科の推進、キャリア教育、専門家や他地域との交流など）	114	43.5	22	43.1
健康教育・体力向上の取組充実（日常的な運動習慣づくり、食育、生活習慣の改善など）	113	43.1	20	39.2
開かれた学校づくり協議会の機能強化（学校・家庭・地域が目標を共有し、互いの強みを生かして協力していくことなど）	112	42.7	18	35.3
デジタル・シティズンシップ教育の推進（生成A I（C h a t G P T等）の利用も見据えた創造的な学習者用コンピュータの活用、S N Sでのコミュニケーションのあり方など）	111	42.4	22	43.1
学習の基盤となる資質・能力の育成（言語能力や情報活用能力の育成など）	104	39.7	15	29.4
生徒指導の充実（子どもが主体的に考え、行動する力の育成、いじめの未然防止・早期発見や対応、自己肯定感の向上など）	98	37.4	20	39.2
多様性を生かした学び（学級活動や児童会・生徒会における話し合いを通じた合意形成など）	97	37.0	12	23.5
特別支援学級の取組の充実（交流共同学習推進、I C Tの活用、指導の専門性の向上など）	88	33.6	16	31.4
次代の教育を担う人材の確保（ティーチングアシスタントをはじめとした大学との連携など）	88	33.6	20	39.2
読書活動の推進（中央図書館との連携、子どものアイデアによる学校図書館活性化など）	87	33.2	12	23.5
教員の専門性の向上（研究会等への参加費補助、管理職との対話によるキャリアデザインづくりなど）	87	33.2	14	27.5
人権教育の推進（子どもの権利や人権課題に関する理解の促進など）	81	30.9	9	17.6
外国語教育の充実（留学生との交流などのコミュニケーションの場づくり、教員の英語指導力の向上など）	77	29.4	12	23.5
子どもの参加や意見表明（校則の見直し、学校行事への子どもの参画など）	74	28.2	6	11.8
理数教育の推進（大学・企業・科学館との連携、S T E A M教育など）	67	25.6	9	17.6
無回答	5	1.9	3	5.9
調査数	262	100.0	51	100.0

Q12. 武蔵野市では市講師や部活動指導員、I C Tサポーターなど様々な人材を学校に配置や派遣をしています。こうした人材との連携を進めていく上で、どのような課題があると思いますか？あてはまるものをすべて選んでください。

項目	小学校		中学校	
	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)
勤務時間内に打ち合わせをする時間がない	190	72.5	35	68.6
学校に来る人材が、それぞれどのような役割を担っているのかが分からない	99	37.8	23	45.1
学校の実態に合った人材を探すことが難しい	88	33.6	31	60.8
学校教育や子どもに関わる人材としての素養が不十分な場合がある	52	19.8	22	43.1
無回答	16	6.1	1	2.0
その他	13	5.0	4	7.8
調査数	262	100.0	51	100.0

Q13. 武蔵野市の施策で知っているものをすべて選んでください。

項 目	小学校		中学校	
	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)
武蔵野市民科の実施	245	93.5	45	88.2
学校司書(図書館サポーター)の配置	236	90.1	46	90.2
開かれた学校づくり協議会	211	80.5	43	84.3
子どもの権利条例	209	79.8	42	82.4
教育相談員の配置	204	77.9	42	82.4
小学校への市講師の配置による教員の多忙化緩和	200	76.3	14	27.5
家庭と子どもの支援員による不登校対応	185	70.6	39	76.5
就学援助制度(学用品費や給食費の援助、所得制限あり。)	185	70.6	36	70.6
デジタル・シティズンシップ教育の推進	179	68.3	19	37.3
広報誌「きょうい武蔵野」の発行	163	62.2	29	56.9
研究課題の発表会等への参加費補助	146	55.7	25	49.0
地域の教育力予算	127	48.5	20	39.2
プログラミング教材の貸出	93	35.5	11	21.6
子どもの家庭生活 気づきのチェックリスト	86	32.8	15	29.4
中学校部活動指導員の配置	66	25.2	45	88.2
無回答	3	1.1	-	-
調査数	262	100.0	51	100.0

Q14. あなたは「子どもの権利」を知っていますか？

項 目	小学校		中学校	
	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)
内容を知っている	216	82.4	42	82.4
名前だけ知っている	44	16.8	9	17.6
全く知らない	-	-	-	-
無回答	2	0.8	-	-
調査数	262	100.0	51	100.0

Q15. 子どもに「子どもの権利」を教えるにあたって、どのような難しさを感じていますか？

項 目	小学校		中学校	
	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)
適切な教材がない	84	32.1	15	29.4
子どもに関心を持ってもらうのが難しい	105	40.1	16	31.4
子どもの権利について教える時間がない	104	39.7	25	49.0
子どもの権利を教える具体的な方法が分からない	82	31.3	16	31.4
自分自身が子どもの権利をよく理解できていない	40	15.3	6	11.8
難しさを感じていない	18	6.9	9	17.6
その他	15	5.7	4	7.8
無回答	4	1.5	-	-
調査数	262	100.0	51	100.0